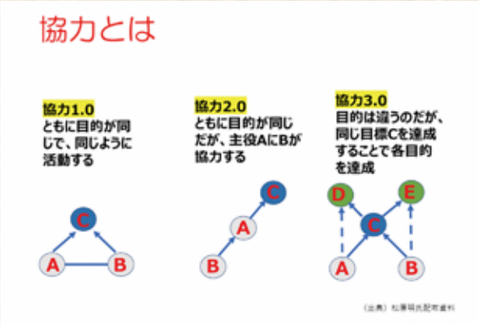
TOPIC 2 「市民活動勉強会～アフターコロナの市民活動を考える～」を開催しました

2021年9月に開催しました「市民活動勉強会～地域公共人材と中間支援～」が、大変好評であったため、2022年3月27日(日)、「アフターコロナの市民活動を考える」というテーマで再度開催しました。

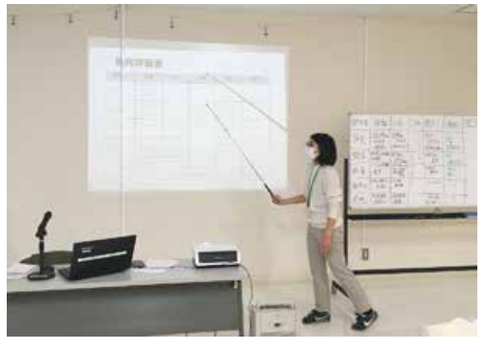
講師も引き続き、(特活)きょうとNPOセンター フェローの久保友美さんに依頼し、顔なじみの方から新しくお会いする方まで、和気あいあいとコミュニケーションを図ることができました。



この勉強会では、この数年間、コロナ禍によって多くの市民活動が制限されていますが、その変化により活動が活発化したり、経営が改善される事例のデータが示されました。そこでは驚きとともに、アフターコロナの市民活動に一筋の光が見えたように感じました。

また、「協力」を3つに分類し考えることや、「相利協力※」というマネジメント方法を学びました。最後に、参加者のみなさんそれぞれで「相利評価表」を記入しながら、利害関係者の役割や相利を楽しみながら考えました。

※相利…利害関係者それぞれが互いに利益を得られる。



講師の久保友美さんがおっしゃっていた、「自分のやりたいことを大切に」とのお言葉を胸にもち、少しでも多くの市民が幸せになれるような市民活動が大切であることを改めて思いました。

市民公益活動支援センターは、市民活動に係る新たな気づきや学び、そして新たな出会いの場として、今後もこのような勉強会･セミナーを複数回開催していきますので、今回残念ながら参加できなかったという方も、ぜひご参加ください。

最後に、参加者の感想をご紹介しておきます(一部抜粋)。

●相利評価表を使うことによっていろいろな方と協力関係を築いていくための問題点を発見することができ、(中略)今後の活動に活かしていけると感じた。

●相利評価表に書けない箇所に、何か問題があるかもという視点がおもしろい。

●活動の役割を分析した事で今後を考えることができた。

●自分のやりたい事、かなえたい事に取り組んだ結果、みんなの幸せにつながるという考え方はとっても大事。（中略）やはり、もちつもたれつ、お互いの得意を生かしてよい世の中になればいいと思います。

素朴な疑問をセンター長に聞いてみたコーナー vol.3

Q. ボランティアとNPOって何が違うん?

ボランティアとNPOは、同じところもあれば異なるところもあるんよなぁ…。

簡単にまとめると、以下の表のようになるかな。

	同じところ	違うところ
ボランティア	個人の「自発性」に基づく活動	個人
ＮＰＯ		団体(個人の集まり)

Q. 市民公益活動支援センターって何してるん?

施設の名前が、漢字ばっかりで堅い名前じゃから、何をしているところか分かりにくいよなぁ(笑)。

主に、中間支援業務をおこなっているじゃけど、具体的には以下の3つかなぁ。

①NPOやボランティアさんの活動サポートや相談、助成金やセミナーなどの情報収集･発信

②多様なセクター(市民･NPO･企業･教育機関･行政など)のマッチング･コーディネート(パイプ役(つな･ひき)の役割)

③市民活動の人材育成･場づくり

そうそう～。

「ほかにも、こんな質問がある!」って方は、6月8日(水)と12日(日)の13:00～15:30に、「市民活動なんでも相談室」を開催するから、市民公益活動支援センターまでご連絡(ご予約)を待ってます♪

あと、同じ日の16:00～17:00は、自由なおしゃべりを通じて、門真のまちづくりや市民活動について考える「おしゃべりサロン」も開催するから、気軽に来て下さいね～。